

Cisco Jabber における複数ドメイン サポート用の IM アドレス方式の設定

内容

[概要](#)

[前提条件](#)

[要件](#)

[使用するコンポーネント](#)

[設定](#)

[サーバの設定](#)

[クライアントの設定](#)

[確認](#)

[トラブルシューティング](#)

[関連情報](#)

概要

このドキュメントでは、Cisco Jabber で柔軟なインスタント メッセージング (IM) アドレス方式を使用するために必要な設定について説明します。この機能は、Cisco Jabber バージョン 10.6 以降と IM プレゼンス サーバ 10.x でサポートされます。同じ Presence の実装に共存する複数のドメインに基づいたユーザがある場合、この機能を実装できます。さらに、ユーザは引き続き個々の sAMAccountName 属性を使用して Jabber にログインできます。IM アドレスが [Directory Uniform Resource Identifier (URI)] フィールドにマップされている場合であっても同様です。

前提条件

要件

Cisco Jabber for Windows、Cisco Unified Communications Manager (CUCM)、および Cisco Unified Communications Manager IM and Presence の基本的な知識を持っていることが推奨されます。

使用するコンポーネント

このドキュメントの情報は、次のソフトウェアとハードウェアのバージョンに基づいています。

- Cisco Unified Communications Manager IM and Presence バージョン 10.x 以降
- Cisco Unified Communications Manager バージョン 10.x 以降
- Windows、Mac、IOS、および Android のバージョン 10.6 以降で実行するすべての Jabber クライアント

このドキュメントの情報は、特定のラボ環境にあるデバイスに基づいて作成されました。このドキュメントで使用するすべてのデバイスは、初期（デフォルト）設定の状態から起動しています。対象のネットワークが実稼働中である場合には、どのようなコマンドについても、その潜在的な影響について確実に理解しておく必要があります。

設定

サーバの設定

詳細プレゼンス設定で使用可能な IM アドレス スキームは次のとおりです。

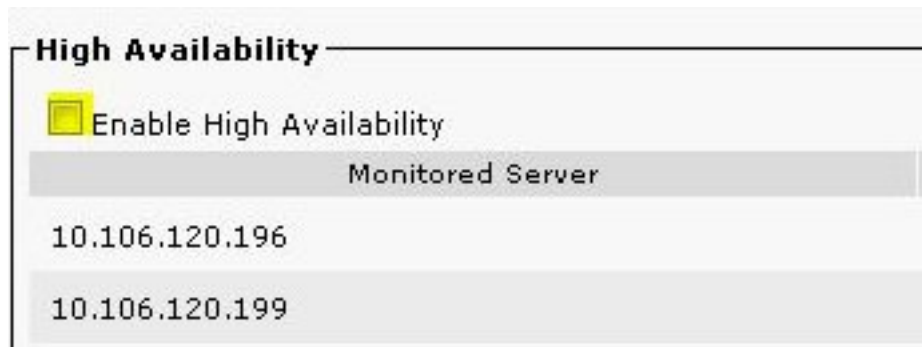
- UserID@[デフォルトドメイン]
- ディレクトリURI

次の手順に示すように、複数のドメインをサポートするために、IM アドレス方式を Directory URI に変更します。

1. [Directory URI] フィールドが、希望する Lightweight Directory Access Protocol (LDAP) 属性にマップされることを確認します。指定できる属性は、msRTCSIP-primaryuseraddress と mail です。CUCM の LDAP Directory 設定ページでこれを確認します。[System] > [LDAP] > [LDAP Directory] を選択します。設定された LDAP をクリックします。[LDAP Directory] ウィンドウの [Standard User Fields To Be Synchronized] 領域で、Directory URI の [LDAP Attribute] フィールドが正しいことを確認します。

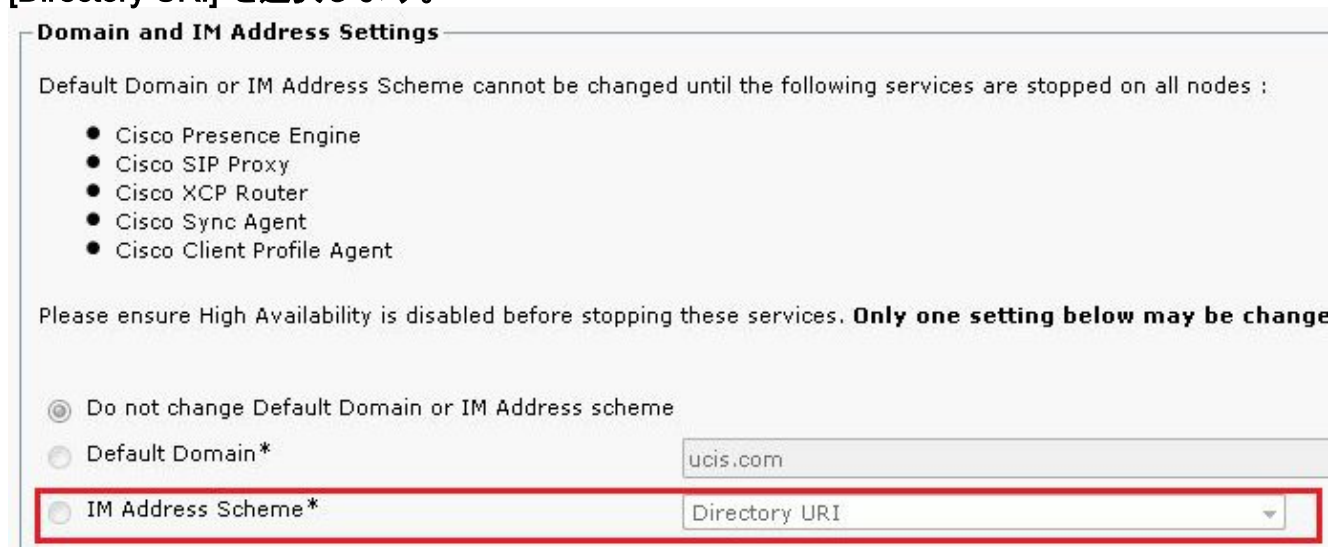
Standard User Fields To Be Synchronized	
Cisco Unified Communications Manager User Fields	LDAP Attribute
User ID	sAMAccountName
Middle Name	middleName ▼
Manager ID	manager
Phone Number	telephoneNumber ▼
Title	title
Mobile Number	mobile
Directory URI	mail ▼

2. IM&P クラスタの [High Availability] を無効にします。注：IM and Presence バージョン 10.x 以降から、Cisco CallManager では、高可用性オプションが Presence Redundancy Groups としてリブランドされます。[System] > [Presence Redundancy Groups] > [DefaultCUPSubcluster] を選択し、高可用性を無効にするために、[Enable High Availability]



のチェックを外します。

3. IM&P サーバで次のサービスを停止します。 Cisco Presence Engine Cisco SIP Proxy Cisco XCP Router Cisco Sync Agent Cisco Client Profile Agent
4. [IM and Presence Administration] > [Presence] > [Settings] > [Advanced Configuration] を選択し、[IM Address Scheme] ラジオ ボタンをクリックして、ドロップダウン リストから [Directory URI] を選択します。



5. [サービスを開始します。 (Start the services)]

クライアントの設定

jabber-config.xml ファイルのこのセクションでパラメータを設定します。この例では、DirectoryURIフィールドがActive Directoryのmail属性にマップされています。

Jabber for MAC/Mobile Clients Basic Directory Integration (BDI)

```
<Directory>
<BDIDirectoryURI>mail</BDIDirectoryURI>
<BDIUseSIPURIToResolveContacts>>true</BDIUseSIPURIToResolveContacts>
<BDISipUri>mail</BDISipUri>
<BDIUriPrefix>sip:</BDIUriPrefix>
</Directory>
```

Jabber for Windows Enhanced Directory Integration (EDI)

```
<Directory>
<DirectoryURI>mail</DirectoryURI>
<UseSIPURIToResolveContacts>>true</UseSIPURIToResolveContacts>
<SipUri>mail</SipUri>
<UriPrefix>sip:</UriPrefix>
```

</Directory>

CUCM ユーザ データ サービス (UDS)

<Directory>

<DirectoryServerType>UDS</DirectoryServerType>

<UdsServer><cucm ip address></UdsServer>

<DirectoryURI>mail</DirectoryURI>

<UseSIPURIToResolveContacts>>true</UseSIPURIToResolveContacts>

<SipUri>mail</SipUri>

<UriPrefix>sip:</UriPrefix>

</Directory>

確認

現在、この設定に使用できる確認手順はありません。

トラブルシューティング

現在、この設定に関する特定のトラブルシューティング情報はありません。

関連情報

- [Cisco Jabber 10.6 展開およびインストールガイド](#)
- [テクニカル サポートとドキュメント – Cisco Systems](#)